デジタルカメラ

μ-mini DIGITAL

はじめに

このたびは、オリンパス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
製品をご使用になる前に、取扱説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
- 本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI 基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

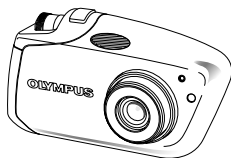
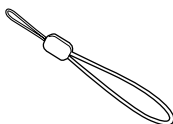
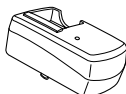
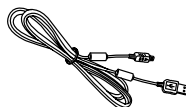
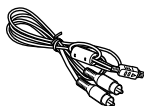
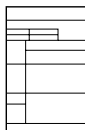
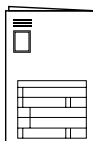
- Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Apple は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

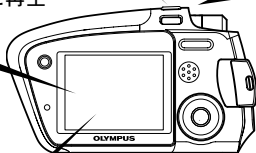
カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

- この取扱説明書は基本的な撮影と再生の操作について説明しています。詳しい機能については、別冊の「取扱説明書 応用編」をお読みください。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

箱の中身を確認する

万一、付属品が不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

このカメラでできること

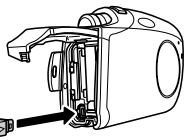
14種類ある撮影シーンから選んでシャッターを切るだけ!
カメラにおまかせでさまざまな撮影シーンを手軽に楽しめます。

1.8 型液晶モニタで、撮影した画像をきれいに再生します。

連続写真

ムービー（動画）も撮影できます。

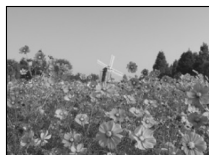
被写体が AF ターゲットマーク（中央）から外れても、カメラが判断してピントを合わせます。
（[AF 方式] を [iESP] に設定時）

プールサイドやゲレンデなどでも、水しぶきや雪など気にすることなく、安心して撮影が楽しめます。

付属の AV ケーブルで、テレビと簡単に接続できます。リビング・旅先・パーティー会場などで、撮影した画像をテレビで楽しめます。

パソコンやプリンタにつなげると ....

付属のソフトウェア（OLYMPUS Master）でカードに保存されている画像をパソコンに取り込み、再生することができます。

PictBridge 対応プリンタなら、パソコンを使わずにプリントできます。

光学 2 倍／デジタルと合わせて 8 倍のズーム機能で、遠くの景色もきれいに撮影します。

光学 1 倍

光学 2 倍

光学＋デジタルの 8 倍

撮影した画像を変換して、オリジナルとは別の画像として保存できます。

ソフトフォーカス

フィッシュアイ

各機能の詳しい説明や、カメラのより高度な使い方については、別冊の「取扱説明書 応用編」をご覧ください。
応用編では付属のソフトウェアのインストール、エラーメッセージや困ったときの対処方法についても説明しています。

目次

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容と応用編の「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについて

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**
- **カメラで日光や強い光を見ない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
  以下のような事故が発生するおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
  - 電池や xD ピクチャーカードなどの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡し指示を受けてください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
  火災・感電の原因となります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
- **連続発光後、発光部分に手を触れない**
  やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電・けがをするおそれがあります。
- **内部に水や異物を入れない**
  火災・感電の原因となります。
  万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
  充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。また別売の AC アダプタをご使用時も長時間お使いになっていると、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
- **専用の当社製リチウムイオン電池と充電器以外は使用しない**
  発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
  火災・やけどの原因となることがあります。
  やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
  （電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）
- **濡れた手でカメラを操作しない**
  故障・感電の原因となることがあります。またACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。
- **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
  けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところに放置しない**
  部品の劣化・火災の原因となることがあります。
- **専用の AC アダプタ以外は使用しない**
  カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外の AC アダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。
- **AC アダプタのコードを傷つけない**
  AC アダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
  以下の場合はただちに使用を中止し、販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグのコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - AC アダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- **火の中に投下したり、加熱しない**
  発火・破裂・火災の原因となります。
- **(+)(−)端子を金属類で接続しない**
- **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
  ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⚠ 警告

- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  感電・故障の原因となります。
- **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・液漏れの原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
  火災・感電の原因となります。
  販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

- **電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

- **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **充電器を分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **充電器は指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ず充電器本体を持つ**
  充電器本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。
  以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - 電源プラグに接触不良がある。

⚠ 注意

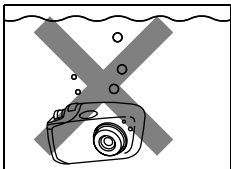
- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
  電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

生活防水について

本製品は、生活防水機能をもっていますが、水中で使用することはできません。

お客様の誤ったご使用方法での浸水による故障は、保証対象外となりますのでご注意ください。

（生活防水：JIS 保護等級 4 相当（当社試験方法による）に該当し、いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響を受けないことをいいます。）

以下の点を守り正しくご使用ください。

● 水で洗わないでください。

● 水の中に落とさないでください。

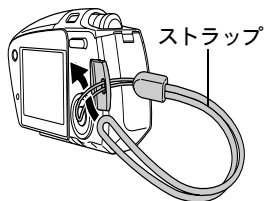
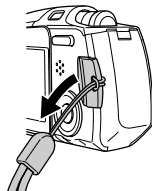
● 水中での撮影はできません。

電池／コネクタカバーが浮き上がっている場合は浸水の原因になりますので、ご注意ください。

電池／コネクタカバーをしっかり閉めます

- 水しぶきなどを浴びてカメラに水滴がついた場合は、早めに乾いた布などで水滴をふき取ってください。
- 本製品の付属品（充電池など）は生活防水ではありません。

ストラップをつける

1 図のように、ストラップを通します。

2 少し強めに引っ張り、ゆるんで抜けないことを確認してください。

注　意

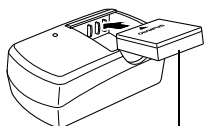
- ストラップを持ってカメラを振り回したり、無理に引っ張らないでください。ストラップが切れる場合があります。
- 手順にしたがってストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れてカメラを落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

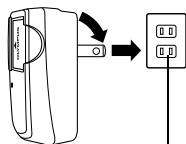
電池を充電する

このカメラは付属のオリンパス製リチウムイオン電池（LI-30B）1 個を使用します。LI-30B 以外の電池は使用できません。
お買い上げの際の電池は十分に充電されていませんので、ご使用の前に専用の充電器（LI-30C）で充電してください。

充電時間	約 110 分

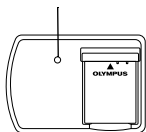
1

電池を矢印の方向にセットします。

2

電源プラグを矢印方向に下げて、家庭用電源コンセントに差し込みます。

充電が開始すると充電表示ランプが赤く点灯します。緑色になったら充電完了です。

充電表示ランプ
赤：充電中
緑：充電完了

注　意

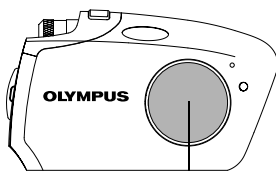
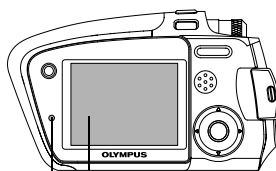
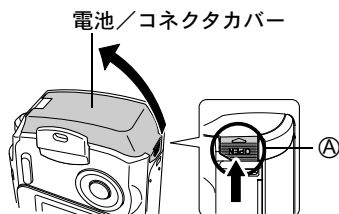
- 専用の充電器以外は使用しないでください。
- 長時間使用する場合や寒冷地で使用する場合は、予備電池（別売）のご用意をおすすめします。
- 充電器は AC100 ～ 240V (50/60Hz) の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプタが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバータ）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

電池を入れる／取り出す

電池はオリンパス製リチウムイオン電池（LI-30B）1 個を使用します。

電池を入れる前、取り出す前に以下のことを確認してください。

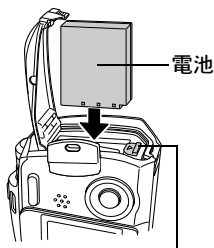
① 電動バリアが閉じている
② 液晶モニタが消えている
③ ランプが消えている

電池を入れる

1

Ⓐの部分を押しながら電池／コネクタカバーを矢印の方向に開きます。

2

電池の向きを合わせて、電池ロックノブで電池がロックされるところまで入れます。

注　意

- 電池の向きが正しくないと、電池／コネクタカバーが閉まりません。

3

電池／コネクタカバーを閉じます。

ヒント

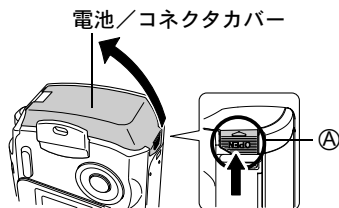
- 電池／コネクタカバーが閉まらないときは、無理に押さず、電池の向きを確認してください。
- 新品電池使用時（フル充電時）の撮影枚数については、別冊の「取扱説明書 応用編」の「6 付録－カメラの仕様」をご覧ください。

注　意

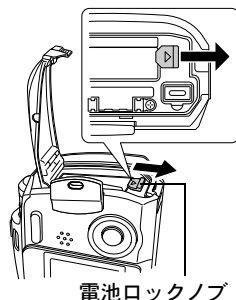
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を消費するため、電池の消耗が早くなることがあります。
  - ・ズーム動作を繰り返す。
  - ・シャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - ・パソコンやプリンタとの接続時。

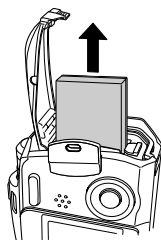
電池を取り出す

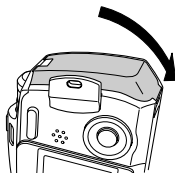
1

Ⓐの部分を押しながら電池／コネクタカバーを矢印の方向に開きます。

2

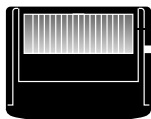
電池ロックノブを矢印方向にスライドさせます。

電池が少し上に出ます。

3

電池を取り出します。

4

電池／コネクタカバーを閉じます。

カードを入れる／取り出す

カード（xD ピクチャーカード）について

このカメラは付属の xD ピクチャーカードを使います。本書では、xD ピクチャーカードを「カード」と呼びます。このカメラで撮影した画像は、カードに記録されます。カードに記録された画像は削除したり、パソコンに取り込んで加工することができます。

使用できるカード	xD ピクチャーカード（16MB ～ 512MB）

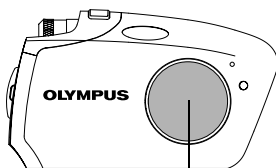
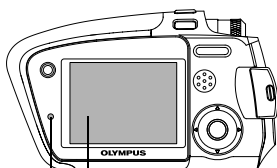
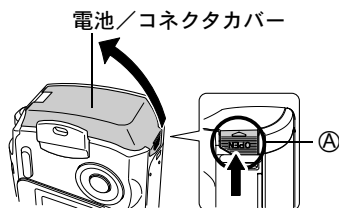
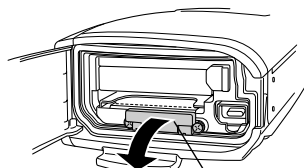
注　意

- オリンパス製以外の市販のカードや、パソコンなどの他の機器でフォーマットしたカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。詳しくは別冊の「取扱説明書 応用編」をご覧ください。

カードを入れる

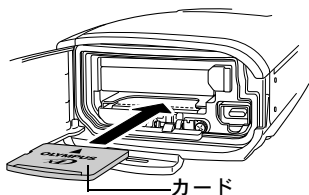
このカメラは、撮影した画像データをカードに記録します。カードが入っていないと撮影できません。

カードを入れる前、取り出す前に以下のことを確認してください。

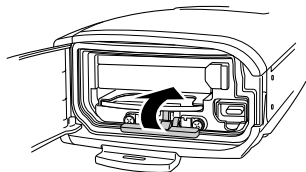
① 電動バリアが閉じている
② 液晶モニタが消えている
③ ランプが消えている

1 Ⓐの部分を押しながら電池／コネクタカバーを矢印の方向に開きます。

2 指先でカードカバーを手前に倒します。

3 図のように、カードスロットにカードを入れます。

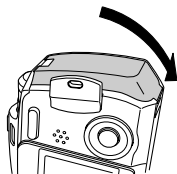
完全に入ると、カードがロックされます。

ヒント

- カードが止まるまで、奥までまっすぐに差し込みます。

注　意

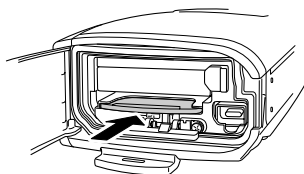
- カードの向きを変えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できないことがあります。

4 カードカバーを閉じます。

5 電池／コネクタカバーを閉じます。

- カードカバーが開いていると、電池／コネクタカバーが閉まりません。

カードを取り出す

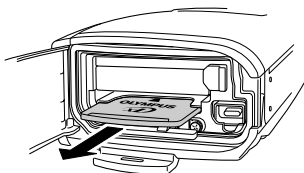
1 電池／コネクタカバー、カードカバーの順に開きます。

2 カードを押し込みます。

カードが少し手前に出ます。

注　意

- カードはペンなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- カードを押した際に指をすぐに放したり、指ではじくようにして押すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

3 カードを取り出します。

注　意

- カメラの電源が入っているときは絶対にカードカバーを開けないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。
- カード表面にシールなどを貼ると、カメラから取り出せなくなることがありますので貼らないでください。

電源を入れる／切る

電源の入れ方は､｢撮影モード｣｢再生モード｣のときで操作が異なります。

注　意

- カメラの電源が入っているときは、絶対にカードカバーを開けたり、電池や AC アダプタ／パワーカプラーの抜き差しをしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータは復旧できません。

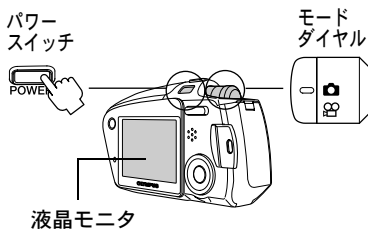
ヒント

- 初めてお使いになるときは、［日時を設定してください］と表示されます。設定方法については、別冊の「取扱説明書 応用編」をご覧ください。

撮影するとき（撮影モード）

電源を入れる

➔ モードダイヤルを 📷 または 🎥 にセットし､パワースイッチを押します。

レンズが繰り出し、液晶モニタに被写体が表示されます。

撮影モード

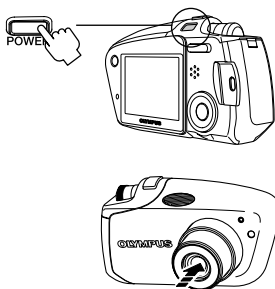
📷：静止画を撮影します。
🎥：ムービー（動画）を撮影します。

ヒント

- 電源を入れたまま約 3 分間放置すると､電池の消耗を防ぐため待機状態になり、カメラは動作を停止します。ズームボタンなどのいずれかのボタンを押すと復帰します。
- 電源を入れたまま約 15 分間放置すると、電池の消耗を防ぐため、電源が切れます。パワースイッチを押してください。

電源を切る

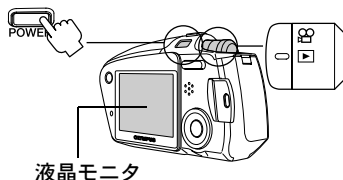
➔ **パワースイッチを押します。**

液晶モニタが消灯し、レンズを収納します。

再生するとき（再生モード）

電源を入れる

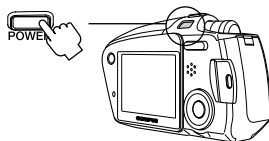
➔ **モードダイヤルを ▶ にセットし、パワースイッチを押します。**

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

ヒント

- 電源を入れたまま約3分間放置すると、電池の消耗を防ぐため、電源が切れます。パワースイッチを押してください。
- 撮影モードでクイックビューボタンを押しても、画像を表示することができます（QUICK VIEW）。

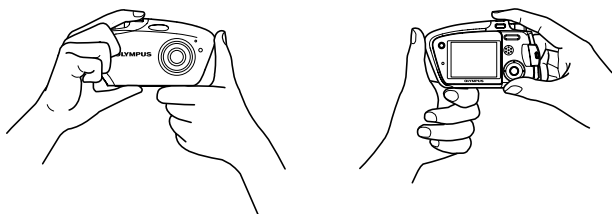
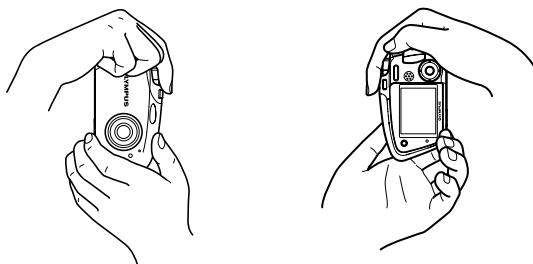
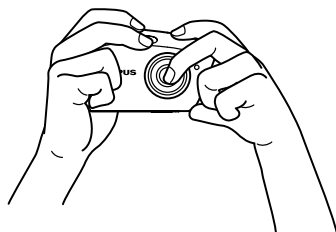
電源を切る

➔ **パワースイッチを押します。**

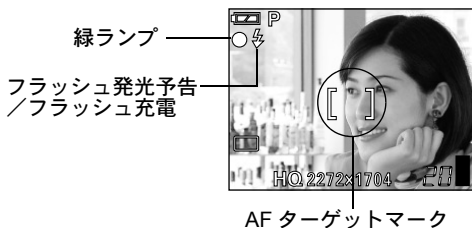
液晶モニタが消灯します。

- 撮影モードでクイックビューボタンを押して画像を表示した場合は、以下の動作で撮影モードに戻ります。
  クイックビューボタンを押す／シャッターボタンを半押しする

カメラを正しく構える

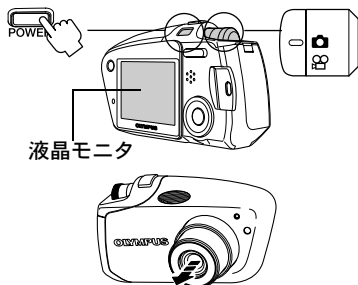
両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。腕が伸びていたり、脇が開いていると手ぶれの原因となります。

カメラを横に構える

カメラを縦に構える

悪い例

レンズやフラッシュ、録音マイクに指やストラップがかからないようにしてください。

静止画を撮影する

液晶モニタを見ながら撮影します。

液晶モニタの表示については、別冊の「取扱説明書 応用編」をご覧ください。

1 **モードダイヤルを 📷 にセットし、パワースイッチを押します。**

レンズが繰り出して、液晶モニタに被写体が表示されます。

2 液晶モニタを見て、電池残量マークが ▭（緑色）になっていることを確認します。

●電池残量マークについて

電池残量マークの状態は以下のように変化します。

▭ 点灯（緑）	撮影できます。
↓	
▭ 点灯（赤）	電池が残り少なくなりました。充電済みの電池と交換するか、充電してください。
↓	
［電池残量がありません］と表示	電池がなくなりました。充電済みの電池と交換するか、充電してください。

3 AFターゲットマークを被写体に合わせます。

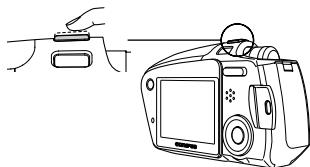
撮影可能枚数が液晶モニタに表示されます。

ヒント

液晶モニタが見にくい

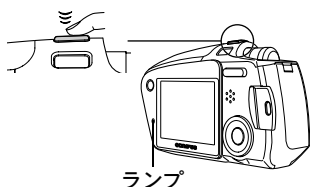
- 晴天下のように明るい場所では、液晶モニタの画像に縦スジが入ることがあります。
- 明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニタの画像にスミア（白い帯状の縞）が見られる場合がありますが、撮影画像への影響はありません。

シャッターボタンを軽く押します。（半押し）

ピントと露出が決まり、液晶モニタに緑ランプが点灯します。

ヒント

- フラッシュが発光するときは、フラッシュ発光予告マークが点灯します。
- 緑ランプが点滅した場合は、ピントが合っていません。もう一度、シャッターボタンを軽く押し直してください。

半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押して、撮影します。（全押し）

撮影した画像がカードに記録されます。

ヒント

- カードへの記録中はカメラ本体のランプが赤く点滅します。
- カメラ本体のランプが点滅中は、絶対にカードカバーを開けたり、電池や AC アダプタ／パワーカプラーの抜き差しをしないでください。撮影した画像が記録されないだけでなく、記録済みの画像が破壊されるおそれがあります。

●メモリゲージについて

撮影すると、メモリゲージが点灯します。メモリゲージの点灯中は撮影した画像をカードに記録しています。メモリゲージがすべて点灯しているとき（右図の状態）は次の撮影はできません。しばらく待って、メモリゲージが消灯してから次の撮影をしてください。

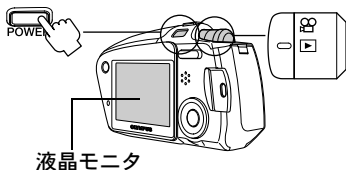
パワースイッチを押すと、電源が切れます。

静止画を再生する

再生モードにすると、最後に撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

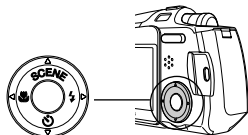
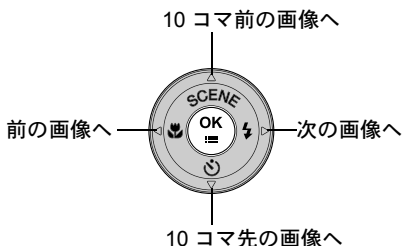
1

モードダイヤルを ▶ にセットし、パワースイッチを押します。

再生モードになり、液晶モニタに撮影した画像が表示されます。

ヒント

- 撮影モードで電源が入っているときは、クイックビューボタンを押しても、画像を表示することができます（QUICK VIEW）。
- 画面上の撮影情報は、3 秒で消えます。

2

十字ボタン△▽◁▷を押して、画像を切り替えます。

3

パワースイッチを押すと、電源が切れます。

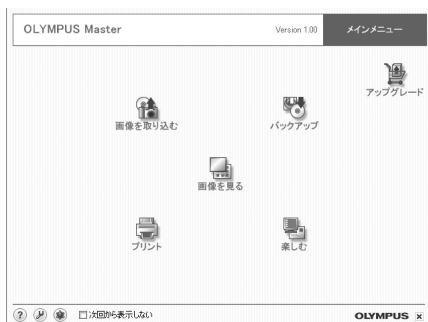
ヒント

- 撮影中にクイックビューボタンを押して画像を表示した場合は、以下の動作で撮影モードに戻ります。

  クイックビューボタンを押す／シャッターボタンを半押しする

OLYMPUS Master について

OLYMPUS Master は、カメラで撮影した画像をパソコン上でさまざまな角度から楽しめる機能を取り入れたアプリケーションソフトウェアです。

大量に撮影した画像もアルバム感覚で管理でき、カメラからの取り込みや編集、プリントも簡単に行えます。

別冊の「取扱説明書 応用編」では、以下の内容を説明しています。

・OLYMPUS Master のインストール方法

・カメラとパソコンの接続方法

・カメラからの画像の取り込み方法

・静止画・ムービー（動画）の再生方法

OLYMPUS Master ではカメラのユーザ登録ができます。
ユーザ登録をすると、ソフトやファームウェアのアップデートのお知らせなどが届きます。

OLYMPUS Master の詳しい使い方については、OLYMPUS Master の「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

ホームページのご案内

http://www.olympus.co.jp/

ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報をご提供しております。オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

商品に関するお問い合わせ窓口（オリンパスカスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル 0120-084215

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。より迅速、正確にお答えするためにお手数ですが、取扱説明書 応用編の「お問い合わせいただく前に（お願い）」の内容をあらかじめご確認ください。

営業時間　**平日**　9：30〜21：00

土・日・祝日　10：00〜18：00

（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　**FAX 0266-26-2011**

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1

オリンパス岡谷修理センター

営業時間　9:00〜17:00（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町1の3の1 小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1の2の3　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1の13の4　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2の19の25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場2の12の26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第2ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通3の6の11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。
　オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in China

VT971901